

# 立野小の11月

## 全国小学校理科研究協議会研究大会

11月17日（金）、北は北海道、南は沖縄から、全国から300名ほどの方にご来校いただき、第56回全国小学校理科研究協議会が本校で開催されました。「ともにかかわり合いながら、自分づくりを進める子どもの育成」～自然をじっくり観察し、浸る子どもを育成する生活科・理科～という研究主題を掲げ、本校でずっと積み上げてきた研究の成果を見ていただくことができました。授業をする先生はもちろん、全職員で力を合わせ、ここまで進んで参りました。そして、とても心強い立野小PTAの皆様にとくさんご協力いただき、無事に終えることができました。まち・公園探検への付き添いのボランティアや大和町商店街をはじめとする地域の皆様のご協力があつて学習を展開することができました。ありがとうございました。

朝一番に「立野小に来てよかったと思っていただけるよう、児童も職員もPTAもがんばります」とアナウンスしましたが、帰りに「立野小に来てよかった」という声をたくさんいただき、とても嬉しく思いました。横浜市の教育長も参観され、感想を次のように述べられました。「どのクラスも楽しい授業ばかり。子ども達が前のめりに授業を受けている。このような授業ができるのは、安定した学校だから。安心して暮らせる学級であることが大前提なのだろう。」また、一緒に参観された指導主事からは、「どのクラスも大変素晴らしい授業展開をしており、感銘を受けました。また、教職員のサポート体制、PTAの皆様の協力姿を見て、チーム立野、オール立野の強さをビシビシと感じました。素敵な学校ですね。PTAの方にもお礼をお伝えしたいです」と感想をいただきました。

それにしても、ものすごい数の参観者を前にしても、萎縮することなく、いつも通り、実験したり、友達と話し合ったり、自分の考えを述べたりしている立野小の子どもたちの素晴らしさが光りました。



## 中区児童音楽会（4年生）

11月21日（火）に県立音楽堂で行われた中区児童音楽会に参加してきました。当日の朝の音楽朝会では、緊張した様子でしたが、本番では本来のパワフルな力を発揮することができました。

皆が一堂に集う形の音楽会は、4年ぶりでしたが、他の学校の合唱やリコーダー奏を聴いて、よい所を吸収し、自分達の発表に繋げようとする姿から、交流することの大切さを実感することができました。

翌日、学年で行った振り返りでは、「一体感をもってみんなで頑張ることができた」「練習は大変だったけど、皆とできて楽しかったし満足」といった発言があり、実りの多い体験をすることができました。



## 幼保小交流会（1・2年）

11月24日（金）に、竹之丸保育園とさゆり幼稚園の年長児を招いて、幼保小交流会を行いました。今回は2回目の交流ということもあり、年長の子どもたちも小学校に来ることをわくわく楽しみにしてくれていました。1年1組は、育てている生き物を紹介し一緒に世話をしました。2年2組・3組は、自分たちの作った動くおもちゃで遊んで楽しんでもらったり、まちたんけんで見つけた店について紹介したりしました。年長の子どもたちが楽しめるように丁寧に説明し優しく声を掛ける姿は頼もしく、お兄さんお姉さんとしての成長を感じる時間でした。

幼保小交流活動は、ここからも続けて取り組んでいく予定です。

